



## ガバナーメッセージ

## 親睦のころ

国際ロータリー第2750地区 2009-10年度 ガバナー 久邇 邦昭



12月は家族月間ですね。忘年家族会を催されるクラブも多い事でしょう。福引などではしゃぐ子供達の顔が目に浮かぶようです。

全く月日の立つのは早いもの、もう年の暮れ、私のガバナーのお勤めは半分、公式訪問も間もなく終りというわけ

です。シドニーで友人がTime fliesといって慨嘆するのを聞いた事があります。全く時は飛んでゆくのですね。年をとると特にひしひしと感じます。嗚呼。

仲のよい家族はよいものですね。冬の夜長を囲炉裏をかこんでおしゃべりするなど。でも親しい中にもけじめありで、お父さんがまず箸をつける、風呂に入るといった事が普通でした。自然と仲よく暮していた農耕民族としては、農作業でも屋根を葺くのも村人の共同作業、皆仲よく家族も助け合って生きて来ました。この頃は、はやばやと家を出て独立する人が居る一方、何時迄も躊躇りしている連中も居るようですが、家族は仲よくする一方で、心身共に自立するというのが望ましいのでしょうか。

欧米では高校ぐらい出ると自立して誕生日やクリスマス等集って楽しむという人が多いようですが、家族の絆はどこも変わらないという事でしょうか。ロータリアンも家族の如く親しく楽しくやりたいものです。

当たり前だと云われるかも知れない。しかし、過去の歴史を考えると、人間は絶え間なく闘争を戦争をくり返して来ましたが。私がよく引き合いに出すのですが、まだ幼い頃、5・15事件というのが起こりました。

時の首相 犬養木堂氏は、暴漢(軍人)がピストルを向けて将に発射しようという時に「話せばわかる」と云った。殺されてしまったのですが、全く信念の人であったと云うべきでしょう。それから11月の月信にも書いたように、群衆の戦争に向けての怒濤のような勢い、先のみえた少数の人達、昭和天皇も、陸海軍や政財界の中の良識ある人々も(平和愛好の筈の各国のロータリアンも)遂に抗し得ず、あの馬鹿げた戦争に突入したのです。同情する点はあるものの、終戦の翌日から豹変した所謂文化人やマスコミにも責任なしとしません。軍人にだけ、所謂A級

戦犯のみに戦争責任を押しつけるのはfair(公平)ではないと思います。

fairというのはThe Four-Way Testの二番目にありますが、欧米ではとても重い徳目とされていて、君はunfairだなどと云ったら大変、青筋をたてて反論されます。怒濤の飛沫の一つ一つだった人達も責任を感じ反省すべきでしょう。

本当にこの群衆心理というのは恐ろしいものですね。カントやベートーヴェンやゲーテを生んだドイツ国民がヒトラーに喝采したのはどうしてでしょう。よく考える事、話し合う事の必要性を痛感します。

戦争に反対した良識ある海軍軍人の中で米内光政、山本五十六、井上成美の3将官が3羽烏などと云われています。私は米内、山本両氏には直接お会いしてませんが、井上中将(後に大将、海軍次官)は私が海軍兵学校に学んでいた頃の校長で敬してやまない方です。

井上校長が私に話された中で心に残っているお話の一つは思いやりの心という事でした。色々のお話の中で云われた事ですが、この思いやりの心があれば戦争は起こらないと云っても極言ではないでしょう。「生きて虜囚の辱を受けず、死して罪禍の汚名を残すこと勿れ」という戦陣訓の一節は、この思いやりに缺ける、戦時国際法に悖る考え方ではないでしょうか。玉砕、特攻攻撃もそうですね。戦争は一国だけではやる事は出来ません。経済的利害の対立や領土的野心の結果起こるわけで、十分な国家間の話し合い、双方共ぎりぎりの譲歩、その基底には思いやりと平和愛好の真心があれば殆んどの場合、戦争は避けられたのではないかと。

井上校長については色々書きたい事があるのですが、要約すれば、経験と絶えざる研鑽の結果の視野の広さ、開戦阻止の努力と、海軍兵学校での敗戦後に向けての人材育成への献身、そして何よりも戦後、ご自身は、人々からの社会での活躍の誘いにも、戦争の責任があるからと云われて一切応じず(責任ある人達の豹変と正反対に)、結核のお嬢さんと一粒種のお孫さんとの3人の生活を配給品だけで送られ、子供達を集めて英語を教えて経済的には逼迫した生活を送られたという事です。私も外国に居たり忙しかったりで、思いつつもお伺い出来なかったのが本当に心残りです。

## INDEX

<http://www.ri2750.org/>

◎ ガバナーメッセージ

◎ 寄付報告 / 文庫通信 / 物故

◎ ロータリー親睦活動委員会の方向性

◎ 出席報告 / 編集後記

ロータリー親睦活動委員会 委員長 小口 洋史(東京城南RC)

# Friendship Mind

Rotary International District 2750

2009-10 Governor Kuniaki KUNI

December is a month of family. I suppose there are many Rotary Clubs that will hold the family year-end party. The children's face that are excited about the lottery comes to me.

How fast the time passes! It is now at the end of the year. A half year has passed since I have worked as the District Governor and most of the Governor's official visiting will be over sooner. I have ever heard that one of my friends in Sydney deplorably said 'Time Flies'. So the time flies absolutely. I feel it hard as I get older. Ah!

A friendly family is pleasant for us, isn't it? They chat with their family sit around the fireplace long winter night. But there is a clear distinction between the children and the father and it is normal that the father eats and takes a bath first. The agricultural people who have lived in perfect harmony have worked farm and thatch with village persons together and lived to help a family each other. In those days one is that someone left his family and stood on his own feet at his early time and another is that someone has been dependent on his parents for a long time. I wish that the family live in harmony, but someone's mind and body makes independent from the family.

After someone graduates the high school, he/she lives his/her own life and enjoys attending the birthday, the Christmas party and so on that ties of family is not changed everywhere. As for the Rotarians, we, Rotarians friendly enjoy like their families.

You will say it is usual. But as we think of past history, the human beings have repeated incessant fights and wars. As I often mention the May 15th Affair was broken out when I was young.

Mr. Bokudo INUKAI, past Prime Minister in Japan said a ruffian of a soldier "Let's talk and you understand" when he has just shot to him. But Mr. INUKAI was killed by him, but he was absolutely a convinced man. As I wrote in the November Letter, we had started a stupid war so that we had a strong force to the war by the crowd and a small number of persons who could see future, Emperor Hirohito and some of sensible persons including Rotarians at each country who loved peace at the army and navy, and political and financial circle could not resist it. There are some sympathies for it, but there were no blames for the persons of culture and of mass media who changed suddenly from next day of the end of a war. I don't think that it was fair to push the war responsibility to the class-A war criminals.

The 'fair' describes on the second test of The Four-Way Test in Rotary, but this phrase is a most high virtue in the West. If you say 'unfair' to them, they will violently argue to you. The persons who were involved in it will feel some responsibility and reflect on themselves.

A mod psychology is so awful, isn't it? How the Germans to whom Kant, Beethoven and Goethe were born made applause to Hitler? I keenly feel what we have to think over and the need to talk each other.

Mr. Mitsumasa YONAI, Mr. Isoroku YAMAMOTO and Mr. Narumi INOUE who were three sensible general officers of the navy who made a war objection were told as trio of the sailors. I have not ever met Mr. Mitsumasa YONAI and Mr. Isoroku YAMAMOTO, but I greatly respected Mr. INOUE, Lieutenant General (later he became a General of Navy subordinate officer) who was a principal of the Navy Academy

One of stories that Mr. Inoue, Principal talked to me that was memorized in my mind was a mind of sympathy. That was one of his speeches. And from an extreme point of view, if we had a mind of sympathy, we have never broken out the war. One of the war camp passages was that we don't suffer humiliation of prisoners to be alive and don't leave disgrace of crime in death lacked in the sympathy and was a outrage of the International Law at the wartime. Fighting to the last man and special attack are same as it. War can not start by one country. That is caused by opposition of the economical interest and the territory ambition and if we had a plenty of talks among the countries, mutual narrow concession and sympathy and love of peace, the war has not almost broken out.

I would like to write about Mr. INOUE, Principal more and in summary he had a wide view based on the continuous study with his experiences, effort of detention of the war outbreak and contribution of training of talent after the loss of a battle. And above all he refused to work in society because of his war responsibility (In contradictory of the responsibility persons who changed drastically), spent his life with his daughter who was sick of tuberculosis and his one grandchild on ration only after the war, taught English to the children and spent a poor life economically. I really regret that I could not visit him though I thought him so that I was busy to live in foreign countries.

## 2009－10年度 ロータリー親睦活動委員会の方向性

ロータリー親睦活動委員会 委員長 小口 洋史（東京城南RC）

新設の委員会として昨年から活動を開始した、誕生2年目の委員会であります。

皆様も既に御承知のとおり、昨年は、委員会といたしまして、地区における親睦活動の活動方針や方向性を見据える為、クラブの同好会、そのクラブに所属するロータリアン皆様の、趣味のアンケートを実施させていただきました。

皆様の御協力の結果、お蔭様をもちましてその資料の内容は、期待以上の成果を頂く事が出来ました。

又、今年度も、引き続き補足のアンケート調査を、現在各クラブをお願いしております。

アンケートの結果を考察していく中で、多くのロータリアンの皆様が、現状の枠を破り、クラブを超えグループを越えながら、趣味の交わりを深めたいと考えているロータリアンの皆様が、多い事を認識させられました。

アンケートの詳細内容については、5月7日に開催した第1回趣味の会で、「ホテルオークラ」にて内容発表させていただきました。（また、報告書は各クラブさまに送付させていただいております。）

又、アンケート資料の整理編纂を進める中で、この委員会が取り組むべき課題の方向性を見出した感がいたします。

上記の課題をベースに、今年度委員会活動の具体的なプログラムでございますが、テーマの実践の場として、二つのプログラムを考えております。



一つは、2月25日に開催される地区大会、友愛の広場を利用させていただき、第2750地区ロータリアンの皆様に、当委員会の存在を〔アンケートの回答率が低調であった〕更に深め、ロータリー親睦活動委員会の存在と、活動内容を認知願う努力をさせていただきます。プログラムにつきましては、現在幾つかの案を検討中であり、是非、御期待に沿えるよう頑張りたいと思います。

二つ目は、3月6日（土曜日）東京城南ロータリークラブがホスト・クラブで主催する、クラシックカーラリー〔チャリティーイベント〕が、正式に開催される事が25周年式典の際に東京城南ロータリークラブから発表されました。

この事業は、東京城南ロータリークラブが中心になり、クラブを超え、地区を超え、企業や地元の応援、御協力をいただきながら進めている事業で、過去5回の大会では、諸団体に支援した支援金は1,000万を越えました。

この事業は、数人の車好きの仲間がクラシックカーの競技をロータリーの奉仕事業に絡ませ、発展させた素晴らしい奉仕事業であります。

ロータリーの趣味を生かしながら楽しみ、多くの友人を得ながら額に汗し、奉仕のためロータリアンのみならず、多くの関係者が努力する形は、ロータリー親睦活動が推し進める活動そのものであります。

地区親睦活動の輪を更に進めるため、ロータリー・フェローシップ・ラリー〔正式大会名〕を、3月6日（土曜日）都庁をスタートし、100台のクラシックカーが南房総を第2790地区ロータリアン皆様の応援を頂きながら、ホテルオークラ東京にゴールしてまいります。

当日、ロータリー親睦活動委員会主催 第2750地区 第2回 趣味の会の開催を計画させていただいております。第1回 趣味の会に企画した囲碁大会、コーラスに加え写真展、お花、お茶、等 ロータリアン 皆様の趣味を御披露頂き、最後にクラシックカーの皆様（関係者含め250名）合同で懇親会を開催し、親睦の交流を図りたいと考えております。

詳細につきましては、順次地区事務所を通じ各クラブ様にお知らせ申し上げます。

最後になりますが、関係各位の御協力のほど宜しくお願い申し上げます。



## 米山功労者ご紹介

ご協力感謝いたします

### ■ 米山功労者

金子 英夫君	東京世田谷	2009.10.1	2
大石 茂生君	東京日本橋西	2009.10.2	2
岡副 眞吾君	東京銀座	2009.10.6	1
高橋 茂樹君	東京世田谷	2009.10.8	1
妻鹿健次郎君	東京世田谷	2009.10.8	9
八木三枝子君	東京世田谷	2009.10.8	1
吉田 雅晴君	東京世田谷南	2009.10.8	16
石川 喜一君	東京日本橋西	2009.10.13	10
高井 勝利君	東京シティ日本橋	2009.10.13	7
町田 稔君	東京八王子	2009.10.13	1
藤堂 敦君	東京立川	2009.10.15	3
清水 庸男君	東京山の手	2009.10.21	5
下川 博久君	東京山の手	2009.10.21	2
浅子 喬君	東京銀座	2009.10.22	9
中川 洋夫君	東京銀座	2009.10.22	1
八木忠一郎君	東京芝	2009.10.23	3
佐々倉英雄君	東京成城新	2009.10.23	4
井本 八郎君	東京品川	2009.10.26	7
鶴橋 誠一君	東京品川	2009.10.26	17
鈴木 貞男君	東京品川	2009.10.26	5
藤川 亀太郎君	東京品川	2009.10.26	8
伊藤 富夫君	東京武蔵府中	2009.10.27	1
磯野 道造君	東京山の手	2009.10.28	3
藤井 俊明君	東京城西	2009.10.29	1
古田 武君	東京城西	2009.10.29	1
中谷 人志君	東京蒲田	2009.10.30	2

## ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチブル

ご協力感謝いたします

◎ 妻鹿健次郎君	東京世田谷	2009.10.9
日下部恵造君	東京昭島	2009.10.9
◎ 松本 吉光君	東京武蔵府中	2009.10.16
◎ 浅子 喬君	東京銀座	2009.10.23
田村 和男君	東京日本橋	2009.10.23
御木 敦子君	東京渋谷	2009.10.23
中島 孝雄君	東京目黒	2009.10.23
◎ 三田 耕吉君	東京世田谷南	2009.10.23
井野 直幸君	東京高輪	2009.10.30
◎ 太田銀一郎君	東京高輪	2009.10.30
◎ 横尾 良明君	東京高輪	2009.10.30
半田 裕明君	東京西	2009.10.30
高橋 哲君	東京西	2009.10.30
◎ 関谷 雄弘君	東京たまがわ	2009.10.30
◎ 関岡 俊二君	東京多摩グリーン	2009.10.30

## 新ベネファクターご紹介

ご協力感謝いたします

吉本 喬美君	東京銀座	2009.10.23
石井 亨君	東京マリーナ	2009.10.23
平井 和夫君	東京目黒	2009.10.23
末松 尚武君	東京目黒	2009.10.23

## 文庫通信 (266号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

### 地区大会の講演から

- ◎「ロボットと共生する未来」  
古田貴之 2009 6p (D.2790)
- ◎「違うから面白い、違わないから素晴らしい」  
宮本亜門 2009 12p (D.2670)
- ◎「日本に喝を入れる」  
上坂冬子 2009 2p (D.2580)
- ◎「日本の進路」  
小泉純一郎 2009 10 (D.2760)
- ◎「琵琶湖は地球環境への小さな窓」  
嘉田由紀子 2009 6p (D.2650)
- ◎「歴史に根ざしたまちづくり」  
森谷尠久 2009 12p (D.2650)
- ◎「アフリカの子どもたち」  
田沼武能 2009 8p (D.2820)

【上記申込先：ロータリー文庫（コピー/PDF）】



〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

## 【深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります】



小林 節男（東京日野RC）

2009年11月5日逝去（享年81歳）

1970年7月29日入会

1983～84年度 クラブ会長

1998～99年度 多摩南A分区ガバナー補佐

ポール・ハリスフェロー

米山功労者（6回）



松本 剛直（東京山の手RC）

2009年11月15日逝去（享年76歳）

1995年8月3日入会

準フェロー

米山功労者

※ ガバナー月信11月号において、クラブ名が間違っておりました。謹んでお詫び申し上げます。



浜尾 光一（東京世田谷南RC）

2009年9月27日逝去（享年77歳）

1974年2月8日入会

ポール・ハリス・フェロー

米山功労者



牟田 悌三（東京世田谷南RC）

2009年1月8日逝去（享年81歳）

1974年2月8日入会

1988～89年度クラブ会長

2000～01年度地区職業奉仕副委員長

2000～01年度ロータリーボランティア委員長

ポール・ハリス・フェロー（2回）

米山功労者（3回）

# ★国際ロータリー第2750地区出席報告（10月分）★ District 2750 Membership Attendance Report October 2009

区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数		
				09年7月1日	09年10月末	増減					09年7月1日	09年10月末	増減
千代田グループ	東 京 南 芝	5	78.74	173	174	1	多摩南グループ	東 京 八 王 子	5	92.33	60	62	2
	東 京 新 橋	4	93.33	89	91	2		東 京 町 田	5	72.60	55	54	-1
	東 京 赤 坂	4	76.85	54	55	1		東 京 日 野	4	79.83	41	41	0
	東 京 み な と	4	77.20	47	48	1		東 京 八 王 子 西	4	87.65	69	70	1
	東京レインボー	3	86.67	50	50	0		東京町田・中	4	74.38	38	38	0
	東京麻布	3	82.91	41	43	2		東京八王子東	4	87.49	28	28	0
	東京銀座	4	72.10	21	22	1		東京八王子南	4	81.48	56	57	1
銀座・日本橋グループ	東京銀座	4	76.77	159	159	0	多摩中グループ	東京町田サルビア	3	88.88	25	24	-1
	東京日本橋	4	80.25	176	180	4		東京飛火野	4	70.14	30	31	1
	東京築地	3	87.09	62	63	1		東京町田東	4	67.56	29	30	1
	東京日本橋東	3	84.18	54	54	0		東京八王子北	3	80.00	31	31	0
	東京中央	5	81.22	230	236	6		東京立川	4	94.44	89	93	4
	東京日本橋西	4	80.36	48	48	0		東京小金井	5	96.66	31	31	0
	東京銀座新	5	79.89	74	75	1		東京国分寺	4	91.97	50	52	2
京浜グループ	東京シティ日本橋	5	73.20	49	53	4	多摩東グループ	東 京 三 鷹	4	85.50	42	42	0
	東京中央新	3	70.80	37	37	0		東 京 昭 島	5	79.11	48	52	4
	東京羽田	4	82.88	44	45	1		東 京 国 立	4	99.00	51	53	2
	東京大森	4	92.31	53	53	0		東京立川こぶし	4	89.97	81	81	0
	東京品川中央	4	81.59	56	56	0		東 京 井 の 頭	3	84.60	25	26	1
	東京田園調布	5	86.77	49	49	0		東京昭島中央	4	80.00	39	40	1
	東京蒲田	3	91.34	59	59	0		東京武蔵国分寺	3	83.76	52	52	0
山の手東グループ	東京田園調布緑	4	85.47	23	23	0	バシフィック・ペイサングループ	東京小金井さくら	4	78.58	21	21	0
	東京品川	5	84.78	66	67	1		東京国立白うめ	3	81.47	21	20	-1
	東京大井	4	75.00	19	19	0		東 京 府 中	4	71.48	64	64	0
	東京港南	4	70.86	19	20	1		東 京 調 布	2	85.38	64	64	0
	東京大崎	5	90.81	36	37	1		東 京 多 摩	4	81.82	23	24	1
	東京京浜	3	80.15	23	23	0		東 京 狛 江	5	81.74	32	32	0
	東京マリーナ	4	72.50	20	20	0		東 京 稲 城	5	70.68	32	32	0
山の手西グループ	東京白金	3	81.70	31	31	0	国内82クラブ計	東京武蔵府中	5	78.93	55	55	0
	東京高輪	2	76.11	29	30	1		東京たまがわ	4	78.65	25	26	1
	東京西	5	82.63	151	151	0		東京多摩グリーン	4	84.27	36	38	2
	東京城西南	4	80.41	76	79	3		東京調布むらさき	5	87.95	82	83	1
	東京西南	4	80.00	55	55	0		Guam	5	54.00	76	70	-6
	東京原宿	4	78.47	29	31	2		Saipan	4	66.28	44	43	-1
	東京杉並	4	72.86	40	41	1		Tumon Bay	4	43.75	94	92	-2
山の手東グループ	東京神宮	4	76.42	35	35	0	地区90クラブ計	Northern Guam		—	35	35	0
	東京恵比寿	4	73.00	94	97	3		Pohnpei	4	45.00	20	20	0
	東京広尾	4	73.96	24	24	0		Palau	4	75.00	15	15	0
	東京渋谷	3	80.55	39	40	1		Guam-Sunrise	4	48.00	31	34	3
	東京六本木	3	75.00	52	51	-1		Truk Lagoon		—	12	11	-1
	東京世田谷	3	86.37	61	62	1		千代田グループ	81.11	多摩南グループ	80.21		
	東京目黒	4	76.70	49	48	-1		銀座・日本橋グループ	79.31	多摩中グループ	87.09		
山の手西グループ	東京成城	4	88.76	24	24	0	京浜グループ	82.31	多摩東グループ	80.10			
	東京世田谷南	4	82.00	94	93	-1	山の手東グループ	77.33	P B グループ	—			
	東京城南	2	64.00	27	30	3	山の手西グループ	77.75					
	東京山の手	4	77.08	67	67	0							
	東京成城新	4	78.36	38	38	0							
	東京青山	4	69.30	33	35	2							
	東京自由が丘	4	82.40	18	18	0							
山の手西グループ	東京世田谷中央	4	72.50	29	31	2							
※ PBグループの出席率については、11月25日現在未着です。次号に掲載予定です。													

※ PBグループの出席率については、11月25日現在未着です。次号に掲載予定です。

## 編集後記

今回は、会報の編集をお手伝いさせていただき、大変得るものがありました。翻訳や執筆は私の本業とは異なりますが、初めて出会う言葉・表現に触れることや、綿密なスケジュール通りに進行させることは、私にとって大いに刺激となり、日常生活や仕事に

プラスになりました。微力ではございますが、会員の皆様のお役に立てることが私の喜びです。

ご協力いただきました皆様にも、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

2009-10年度ガバナー月信・IT委員会 委員 アンドリュー・ウォン（東京南RC）

国際ロータリー第2750地区 2009-10年 ガバナー 久邇 邦昭

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2009-10 Governor Kuniaki Kuni

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 久邇 邦昭(2009-10) © Kuniaki Kuni 2009

編集・制作：ガバナー月信・IT 委員会委員長 田辺 克彦 副委員長(ガバナー月信担当) 成吉 徳

中野 博義 Andrew WONG 木村 清信 松田 美房 竹平時彦 堀口 昇治 森本 行俊 浅見 省三 河村 勝久 坂場 一隆 渡邊 卓美

ガバナー月信・IT 委員会副委員長(IT 担当)：山見 真弘

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>